

# 2009年度（平成21年度） 事業報告書

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）



学校法人上智学院

<http://www.sophia.ac.jp/>

## 2009年度(平成21年度)事業報告書 目次

A. 法人の概要	
1. 設置学校と教育精神	1
2. 歴史	1
3. 学院の現況	2
4. 「グランド・レイアウト」(長期計画)	3
5. 役員等	4
B. トピックス	5
C. 事業の概要	
I 管理運営	7
II 教育・研究	
1. 上智大学	8
2. 上智短期大学	10
3. 上智社会福祉専門学校	11
III その他	12
IV 本学院が対処すべき課題	12
D. 財務の概要	
決算の概要	14
E. DATA	
別表1 上智学院の年譜	15
別表2 上智学院組織図	16
別表3 キャンパス	19
別表4 施設等の状況	20
別表5 学生数	21
別表6 卒業・修了者数	23
別表7 入試(2010年度入試)	25
別表8 国際交流	28
別表9 進路	29
別表10 研究・知的財産等	30
別表11 2009年度 主な事業と予算執行状況	31
別表12 資金収支計算書(概要)	33
別表13 消費収支計算書(概要)	34
別表14 貸借対照表(概要)	35
有価証券の状況	35
別表15 主な財務比率	36
寄付金の状況	36
借入金の状況	36
別表16 収益事業の状況	37

# 2009 年度(平成 21 年度) 学校法人上智学院 事業報告書

<2009 年(平成 21 年)4 月 1 日から 2010 年(平成 22 年)3 月 31 日まで>

## A. 法人の概要

### 1. 設置学校と教育精神

学校法人上智学院は、上智大学(東京都千代田区紀尾井町 7-1。1913 年(大正 2 年)設立)、上智短期大学(神奈川県秦野市上大槻山王台 999。1973 年(昭和 48 年)設立)および上智社会福祉専門学校(東京都千代田区紀尾井町 7-1。1963 年(昭和 38 年)設立)の設置者であり、各々の学校において、”Men and Women for Others, with Others”(他者のために、他者とともに生きる)の教育精神に基づき、キリスト教ヒューマニズムに立脚した教育、研究、社会貢献・国際貢献を展開しています。

「上智」という名称は、伝統的なカトリックの祈り「聖母マリアの連祷」の中の一句である「上智の座」に由来し、「最高の叡智」を意味しています。

### 2. 歴史

#### (1) 上智大学

上智大学の創立は、遠く東洋伝導の先駆者聖フランシスコ・ザビエルの宿願に基づきます。ザビエルはわが国に滞在中(1549~1551 年)、西欧の最善の文化財を供給しうる高度の教育機関としての大学を、わが国の首都に設立する計画をもっていました。滞在期間が短かったため、実現には至りませんでした。

それから約 350 年たった 1903 年(明治 36 年)11 月から 12 月にかけて、ドイツ人でインド文化や中国文化に造詣の深いヨゼフ・ダールマン師が日本を訪れ、その際、日本のカトリック信者からカトリック教会の文化的な基盤となるカトリック大学を設立してほしいと強く要望されました。この要望をダールマン師はローマの聖座に報告しました。そして、1905 年(明治 38 年)7 月にダールマン師がローマ教皇ピオ 10 世に拝謁したとき、教皇はイエズス会員を日本に派遣してカトリック大学を設立することを約束しました。

1905 年(明治 38 年)8 月、アメリカ合衆国メイン州ポートランドのウィリアム・ヘンリー・オコンネル司教が、教皇特使として日本に赴くよう教皇から命じられました。オコンネル司教は、明治天皇に拝謁する一方、桂太郎首相を始めとする関係者と会談し、また、文部省の意向を確かめたりして、日本にカトリック大学の設立の可能性があることをローマの聖座に報告しました。

その後、教皇は、イエズス会に対して日本にカトリック大学を設立するよう要請し、イエズス会は、1906 年(明治 38 年)9 月の第 25 回総会においてその要請を正式に受諾し、設立準備に取りかかりました。

1908 年(明治 41 年)10 月 18 日、ダールマン師の他、フランス人アンリ・ブシェー師とイギリス人ジェームズ・ロックリフ師の 3 名が、日本にカトリック大学を設立するため来日しました。1910 年(明治 43 年)に来日したドイツ人ヘルマン・ホフマン師は、1911 年(明治 44 年)財団法人上智学院を設立し、ついで 1913 年(大正 2 年)上智大学を現在地に設置して、初代学長となりました。

以来、上智大学は、キリスト教の世界観に基づき、最高の教育並びに研究機関としての大学の使命を果たすとともに、当初より多数の外国人教授を擁し、東西文化交流のかけ橋として、わが国の大学の中でも独特な地位を占めています。

上智大学は設立当初は男子校として開学しましたが、1957年(昭和32年)には、社会からの要請により、男女共学となり、それ以降、女子学生の卒業後の活躍ぶりが世間から高く評価されました。

### (2) 上智短期大学

上智短期大学は、1973年(昭和48年)、イエズス会の会憲の精神に基づいて設立されている聖マリア修道女会の協力を得て、神奈川県秦野市に設立されました。

### (3) 上智社会福祉専門学校

上智社会福祉専門学校は、社会福祉事業に専門的に従事する有能な人格者であり、かつ健全な人生観、世界観をもって日本社会福祉におけるキリスト教的、使徒的使命を達成する人物を養成するために設立されました。1963年(昭和38年)に厚生省(当時)から社会福祉主事資格養成機関として認可を受け、1964年(昭和39年)に上智大学社会福祉専修科として発足、1976年(昭和51年)に上智社会福祉専門学校となりました。

## 3. 学院の現況

学校法人上智学院は、意思決定機関として理事会(理事9人、監事2人)を、理事会の諮問機関として評議員会(評議員19人)をそれぞれ置いています。

また、理事会で決定された基本計画を執行するとともに理事会に付議すべき事項について審議・決定するほか各部局間の連絡・調整等を行う機関として常務会(理事、学長、副学長等で構成)を置いています。

財政状況については、2009年度(平成21年度)資金収支において収入総額618億円、支出総額523億円となりました。消費収支においては、収入総額210億円、支出総額218億円、当年度消費収支超過額は8億円の支出超過であり、累積消費収支超過額は102億円の支出超過となっています。施設については、東京都に所在する四谷、市谷、石神井の各キャンパスおよび神奈川県に所在する秦野キャンパス等における現有総土地面積は419,696㎡(含、借用)、現有総建物延床面積は190,399㎡(含、借用)となっています。

設置の各校については、上智大学は8学部、大学院10研究科、上智短期大学は英語科、そして、上智社会福祉専門学校は2専門課程3科と1つの通信課程からそれぞれ構成され、3校全体での学生総数は12,765人、3校の2009年度卒業生・修了者総数は3,154人、修士号授与者数334人、法務博士号(法科大学院)授与者数99人、博士号授与者数23人(課程博士20人、論文博士7人)となりました。また、3校の2010年度(平成22年度)入学志願者総数は29,261人でした。

専任教員総数は522人、うち専任外国人教員90人であり、専任職員総数は294人でした。

3校全体での授業開講科目総数は6,293科目となり、また、上智大学における生涯学習のための講座総数は464講座でした。

交換留学協定または学術交流協定を締結している海外の高等教育機関は、昨年度より12校が新たに増え、総数で世界36ヶ国にわたる152校となっています。

#### 4. 「グランド・レイアウト」(長期計画)

長期計画については、2001年(平成13年)5月に「世界に並び立つ大学」として成長し成熟するための基本的方向性を示す「上智大学 教育・研究・キャンパス再興 グランド・レイアウト」を学内外に公表し、その計画の実現に努めています。理事会は、2006年(平成18年)1月25日に「グランド・レイアウト第2期に向けて」を公表し、2006年度から2010年度の5年間を「第2期」と位置付け、2009年度は「第2期」の4年目となりました。

第1期(2001年度～2005年度)に実現した計画

- ・アジア人材養成研究センターの設置
- ・法科大学院の設置
- ・総合人間科学研究科、総合人間科学部の設置
- ・地球環境学研究科の設置
- ・国際教養学部の設置
- ・グローバル・スタディーズ研究科の設置
- ・外国語学研究科言語学専攻の充実
- ・研究機構の設置
- ・2号館および上智枝川寮の建設
- ・事務組織等の改革 等

第2期(2006年度～2010年度)における、2009年度までに実現した計画

- ・経済学研究科の再編
- ・理工学部、理工学研究科の再編
- ・「キリスト教人間学」の開講
- ・カトリック高等学校対象特別入試(AO方式)の導入
- ・短期教員交換制度の導入
- ・イエズス会東アジア4大学グローバルリーダーシップ・プログラムの実施
- ・PD・RA制度の導入
- ・新職員人事制度の導入
- ・12号館の建設
- ・課程センターの設置
- ・生涯メールアドレスの付与
- ・教育研究諮問会議の設置 等

2009年度は、さらに、聖母学園との合併、国際化推進、新キャンパス計画について検討し、実施に向けた準備を行いました。

## 5. 役員等 ※2010年(平成22年)3月31日現在

### ■役員(理事会構成員)

理事長	高祖 敏明
学務担当理事	石澤 良昭
総務担当理事	山岡 三治
人事担当理事	杉本 徹雄
財務担当理事	塚田 秀美
国際交流担当理事(兼) カトリック指導担当理事	ジャンークロード・オロリッシュ
理事	岡部 進
	堀田 健介
	曾根 忠明
監事	新井 次男
	本田 親彦

### ■評議員

ジャンークロード・オロリッシュ	石澤 良昭
フランク・スコット・ハウエル	矢島 基美
鈴木 雄雅	杉本 徹雄
田宮 徹	堀内 俊一
木村 増夫	マヌエル・シルゴ
濱口吉右衛門	山岡 三治
曾根 忠明	鈴木 成一
住田 省悟	塚田 秀美
池田 彰孝	岡部 進
高祖 敏明	

### ■学長・副学長・校長

上智大学	大学長	石澤 良昭
	学務担当副学長	矢島 基美
	学術交流担当副学長	リンダ・グローブ
	学生総務担当副学長	小林 順治
	学長補佐	ジャンークロード・オロリッシュ
上智短期大学	短期大学長	フランク・スコット・ハウエル
上智社会福祉専門学校	校長	喜田 勳

### ■その他

理事補佐(総務担当)	舌津 一良
------------	-------

## B. トピックス

### 1. さらなる国際化推進に向けて

#### 「文部科学省平成 21 年度国際化拠点整備事業(グローバル30)」に採択

2009 年(平成 21 年)7 月、上智大学は「文部科学省平成 21 年度国際化拠点整備事業(グローバル30)」に採択されました。

2020 年度(平成 32 年度)までに、留学生受入人数を現在の 1,000 人から 2,600 人以上に、長期・短期の海外派遣留学者数を現在の 400 人から 1,000 人へと大幅に増加させることを目標としています。

グローバル化推進本部を新設し、次の事業を中心に留学生受入政策の検討と体制整備の取り組みを開始しました。

- ・地球環境学研究科及び理工学部英語コース(環境系)新設の準備
- ・サマーセッション(英語による日本・アジア研究の教育プログラム)の複数回開講の検討
- ・日本語教育センター(仮称)の新設検討
- ・留学生支援センター(仮称)新設の準備

### 2. 新たなヒューマン・ケアやヒューマン・サービスに関する教育研究の充実

#### 学校法人聖母学園との法人合併に向けて

2009 年(平成 21 年)12 月 18 日、学校法人上智学院と学校法人聖母学園は、両学校法人を合併する旨の契約を締結しました。合併予定日は 2011 年(平成 23 年)4 月 1 日。本合併により学校法人上智学院は、2011 年(平成 23 年)4 月 1 日から新たに、「上智大学総合人間科学部 看護学科」、「上智大学総合人間科学研究科 看護学専攻」、「聖母大学(学生が在籍しなくなった時点で廃止予定)看護学部 看護学科」、「聖母大学 助産学専攻科」(2014 年度(平成 26 年度)までに移管予定)、「聖母大学 看護学研究科 看護学専攻」、「聖母看護学校(通信制)」を設置します。キャンパスは現在の聖母大学キャンパスを使用します。

看護教育・研究に着実な実践を重ねてきた聖母大学を加えることにより、総合大学としての教育研究のシナジー効果を高めつつ、上智大学の教育の特色である国際性と人間性の向上の実現を前面に打ち出し、ヒューマン・ディグニティ(人間の尊厳)を重視した教育研究を行っていきます。

### 3. 国内大学と学生交流協定を締結 幅広い分野の授業履修が可能に

本学と共通の教育理念を持つカトリック大学や、近隣の特色ある大学との相互交流と協力関係を深めることを目的として、2010 年度(平成 22 年度)から学生交流を開始します。学生交流の形態は、「国内留学型」(所属大学に学籍を置き、交流期間中は受入大学で科目履修及び研究を行う)と「単位互換型」(所属大学に学籍を置き、当該大学における科目履修と並行して受入大学で科目履修及び研究を行う)となります。

2009 年(平成 21 年)9 月に、清泉女学院大学(長野県長野市)と「国内留学型」協定を、2010 年(平成 22 年)3 月には、東京音楽大学(東京都豊島区)、東京純心女子大学(東京都八王子市)と「単位互換型」協定を、それぞれ締結しました。

#### **4. 高大連携の新たな形 学校法人泰星学園(福岡県)との教育提携**

2010年(平成22年)2月15日、学校法人上智学院と上智大学は、上智大学の高大連携を推進するため、学校法人泰星学園が設置する泰星中学校及び泰星高等学校を上智大学の教育提携校として位置付け、教育提携に関する協定を締結しました。協定の主な内容は、「教育提携プログラム」、「特別推薦枠の設定」等で、開始時期は2010年(平成22年)4月からです。

また、2011年(平成23年)4月から泰星中学校、泰星高等学校の名称を上智大学福岡中学校、上智大学福岡高等学校へ変更する予定です。

この教育提携により、社会貢献の志を抱き、国際社会におけるリーダーとなり得る優秀な人材を大学入学以前から育成し、日本のみならず世界に輩出することを目的としています。

#### **5. 上智大学グリーンケア研究所の開設に向けて**

2010年(平成22年)3月29日、学校法人上智学院と学校法人英知学院は、日本グリーンケア研究所を、英知学院が設置する聖トマス大学から上智大学に移管する契約を締結しました。移管日は2010年(平成22年)4月1日で「上智大学グリーンケア研究所」として活動を開始します。

当研究所では、「グリーン(悲嘆)」に対するケアの重要性に鑑み、公開講座やグリーンケアに関わる人材を養成するための講座等を実施します。

#### **6. アカデミック英語能力判定テストの開発を英検協会と共同でスタート**

2009年度(平成21年度)より、財団法人日本英語検定協会と共同で、新たな英語テスト(アカデミック英語能力判定テスト[TEAP:Test of English for Academic Purposes])の開発に着手しました。英語を母語としない環境における「大学教育レベルにふさわしい英語運用能力」を判定できるテストを開発します。新テスト(TEAP)の開発は、本学の入試の改善に向けたものであると同時に、日本の英語学習のあり方や方向性を示唆するといった、社会的意義も持っています。

2009年(平成21年)12月には、高校生を対象としたパイロットテストを実施しました。2010年(平成22年)秋に実施する特別入試(AO方式)から本格導入を目指します。

#### **7. 文学部国文学科創設50周年**

文学部国文学科は1959年(昭和34年)に創設され、2009年(平成21年)で50周年を迎えました。これを記念し、2009年(平成21年)12月13日に、「世界に発信する『日本学』を目指して」と題して国際シンポジウムを開催しました。



## C. 事業の概要

学校法人及び設置学校が、2009年度(平成21年度)に行った主な事業の概要は、次のとおりです。(別表11の「2009年度 主な事業と予算執行状況」を参照ください。)

### I. 管理運営

法人及び設置する学校の管理運営については、健全性、透明性並びに効率性を確保した教育・研究体制を確立するために、管理運営面における整備、充実に向け、継続してこれを推進しました。

#### 1. ガバナンス、内部統制等

##### (1) 資産運用体制の整備

資産運用管理規程及び資産運用委員会規程を改正し、資産運用に係る意思決定等の適正化と統制環境を確立(資産運用委員会、財務委員会、理事会で報告・審議を経て決定)し、資産運用に係る体制を整備しました。また、資産運用に対しては、定期的にコンサルタント会社の分析と助言を受けています。

##### (2) 認証評価機関による認証評価の実施

2009年(平成21年)10月、認証評価機関(大学基準協会)による実地視察が行われ、認証評価を受けた結果、2010年(平成22年)3月に「適合」と認定されました。

評価結果は、「長所」5件、「助言」18件で、「勧告」はありませんでした。今後は、長所についてはさらなる伸展を、助言については真摯に受け止め本学の教育・研究の改善に活かしていきます。

#### 2. 卒業生との連携

卒業後も利用できる生涯メールアドレスを、2009年(平成21年)3月卒業生から、配付を開始しました。また、一部の卒業生団体(地域ソフィア会等)にも配付を始めています。

加えて、卒業生のコミュニケーションを活性化することにより、母校との「つながり」をつくることを目的としたWEBサービスを開始するため、企画の基本方針、コンテンツのコンセプト及び内容等について検討・要件定義を行いました。2011年(平成22年)4月からの運用開始を予定しています。

#### 3. 上智大学創立100周年記念事業の推進

「ソフィア・ルネッサンス連続講演会」、「上智大学のルーツをたどる旅」等の企画を実施しました。今後も2013年(平成24年)の創立100周年に向けて、様々な企画を行っていきます。

#### 4. 組織・運営体制

長期計画を含めた学院の重要政策課題に関わる業務(ステークホルダー、教育研究改革推進、キャンパス計画、創立100周年記念事業推進、男女共同参画、理事長特命事項、学長特命事項等)を担当する部署として、2009年(平成21年)7月に、総務局内に「学院改革推進室」を新たに設置しました。

## **5. キャンパス・ライフの環境整備・充実**

### **(1) 真田濠運動場の賃貸借契約の更新**

2009年(平成21年)10月28日から2029年(平成41年)10月27日までの20年間の借用について、東京都と契約を更新しました。

### **(2) 耐震補強工事の実施と防災・安全面の強化**

四谷キャンパスの3号館(B棟)・8号館・ホフマンホール、秦野キャンパスの1号館(短大校舎棟)・2号館(食堂棟)・体育館・秦野セミナーハウス並びに市谷キャンパス校舎棟の耐震補強工事を計画に基づき実施しました。

また、大規模災害を想定した学生・教職員合同の自衛消防隊による防災訓練(9月)、及び、上智大学学生課外活動団体を対象とした防災訓練・防災講習会(11月)を実施しました。さらに、盗難被害を防ぐため、四谷キャンパスの必要な場所に防犯カメラを設置し、安心・安全なキャンパス作りを進めました。

## **II 教育・研究**

### **1. 上智大学**

2009年度(平成21年度)の重要課題として、(1)教育・研究機能の強化、(2)国際化・国際連携の推進、(3)学生生活の活性化、を大きな柱として掲げ、下記のとおり、取り組みました。

#### **(1) 教育・研究機能の強化**

##### **① 神学部神学科 収容定員を増加**

「神学部神学科」の入学定員を25名から40名に増員、編入学制度を新設(定員8名)し、新たな神学科(収容定員176名)として再スタートしました。

##### **② 教育イノベーション・プログラム**

上智らしい教育のための改善・改革を促進する「教育イノベーション・プログラム」を新設し、「オープンコースウェアの環境構築」、「建学の精神を反映した内容重視および自己発信型の必修英語プログラム」、「認知症家族ネットワークへの参加を通じた学生の介護実践能力向上プログラム」等、12件を採択しました。

##### **③ キリスト教人間学**

全学共通教育において、哲学・人間性の探求を目的として、現代社会の人間のあり方を多角的に学ぶ科目群として「キリスト教人間学」を開講しました。

##### **④ 課程センターを新設**

教員免許、学芸員、その他の資格取得等を通じて学生のキャリア形成を重点的に支援するための、総合的かつ継続的な業務運営を目的として、「課程センター」を新たに設置しました。

##### **⑤ 外国語 e-Learning 用ポータルサイト**

外国語学習に役立つ e-Learning の web サイトの収集を行い、「外国語 e-Learning 用ポータルサイト」としてホームページを構築し、学内公開を開始しました。学生が自主的に、授業で習ったことを補

強したり、必要と思われる能力を伸ばすことを目的としています。

#### ⑥ 上智大学エグゼクティブ・ビジネス・アカデミー

実業界におけるリーダー養成のための社会人対象講座として、企業トップの経験と大学教員の研究に基づく理論を融合させた講義を提供する「上智大学エグゼクティブ・ビジネス・アカデミー」を新設し、春期は四谷キャンパスで10回、秋期には本学として初めて大阪(聖トマス大学)で6回にわたる講座を開講しました。

#### ⑦ 研究機構常設研究部門の統合

イベロアメリカ研究所とポルトガル語圏研究所を組織統合し、「イベロアメリカ研究所」としました。また、ヨーロッパ研究所とイスパニア研究所を組織統合し、「ヨーロッパ研究所」としました。

#### ⑧ 環境と貿易研究センター

温室効果ガスの国内排出量取引制度がもたらすリーケージ(漏出)問題の定量化と防止策についての政策提言等を目的として、研究機構時限研究部門に、「環境と貿易研究センター」を新たに設置しました。

#### ⑨ 半導体研究所

半導体工学及びこれに関連する基礎電子工学・基礎物性に関する研究を行う、新たな附置研究機関として、「半導体研究所」を新設しました。

#### ⑩ 女性研究者支援モデル育成プログラムに採択

平成21年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成プログラム」に「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクトが採択されました。

グローバル社会に対応しうる優秀な女性研究者の育成と輩出と男女共同参画を推進することを目的とし、上智大学における理工学部的女性研究者の研究環境を整え、より広く女性研究者に門戸を拓き、さらに優秀な人材を獲得することにより、同学部における女性研究者の比率を向上させるとともに、大学全体の女性研究者比率の向上を促進します。

#### ⑪ ラーニング・コモンズ

中央図書館地下1階に、グループ学習・PC利用・プレゼンテーション準備・論文作成など様々な学習用途に利用できる多目的学習スペースとして、「ラーニング・コモンズ」(グループワークエリア[40席]、プレゼンテーションエリア[40席]、PC利用エリア[18席]、学習支援席[4席]、サービスデスク)を設置するとともに、レポートや論文の書き方指導等の学習支援セミナーを開催しました。

#### ⑫ 機関リポジトリ

本学の学術研究成果及び教育成果を収集・蓄積・保存し、広く公開することを目的としたシステム＝「機関リポジトリ」を本番運用(2010年(平成22年)4月)に向け、試験運用を開始しました。

#### ⑬ 上智大学教育研究諮問会議

卒業生委員と本学教職員で構成される「上智大学教育研究諮問会議」(2008年度(平成20年度)から開始)を、2009年(平成21年)7月、2010年(平成22年)2月に開催しました。

各テーマは、「卒業生に支持される大学づくり」、「教育研究支援・事業支援につなぐ“卒業生のネットワーク”づくり」。

## (2) 国際化・国際連携の推進

### ① 短期教員交換制度

短期教員交換制度を新設し、2009年7～8月にかけて、コムリヤス大学(スペイン)所属教員1名を受け入れ、理工学部にて研究者交流を実施しました。

### ② The Sophia-Yale Joint Scholarship Program

「The Sophia-Yale Joint Scholarship Program」(イエール大学 MBA プログラム[経営学修士課程]進学のための奨学金制度)を新設し、第1期生が2009年(平成21年)8月よりイエール大学にて修学を開始しました。

### ③ イエズス会東アジア 4 大学グローバルリーダーシップ・プログラム

第2回イエズス会東アジア 4 大学グローバルリーダーシップ・プログラム(国籍や文化背景が異なる学生が一同に会し、英語を共通言語として国際理解と共生社会実現の課題と方策を探り、国際社会でリーダーシップを発揮できる人材を育成。)を本学のほかに、韓国の西江大学、台湾の輔仁大学、フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学から学生が参加し、2009年(平成21年)8月に西江大学にて実施しました。

## (3) 学生生活の活性化

### ① 新たな奨学金

「上智大学レモス研究者養成奨励金」(博士後期課程入学者への経済支援)、「上智大学留学生特別奨学金」(アジア諸国からの留学生の修学保証)、「上智大学後援会奨学金」(学部生への経済支援)等、新たな奨学金制度を設置しました。

### ② 「学長賞」、「学長奨励賞」を新設

学術研究活動、課外活動、社会活動、国際交流等の分野において、目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に貢献のあった学生、学生団体を表彰する「学長賞」、「学長奨励賞」を新設し、学長賞2名、学長奨励賞1名及び1団体を表彰しました。

### ③カンボジア・タイ エクスポートツアー

2009年(平成21年)9月8日から18日まで、課外教育プログラムとして「カンボジア・タイ エクスポートツアー」を実施しました。このプログラムは2007年度から始まったもので、異文化の諸環境における人々の生活を実体験し、国際的な視野を持って他者のために生きることの意義を深く考えることを目的としています。2009年度は24人の学生が参加しました。

### ④ 上南戦第50回記念大会

「上南戦第50回記念大会」(上南戦:1960年代から続く、学生主催の、南山大学[名古屋]との運動対抗戦[体育会が中心]。1年ごとに互いの大学を会場とする。)において、体育会OBや文化系課外活動団体へも参加を促し、開会式を代々木第二体育館で行いました。経費補助を含め、学生課外活動を全面的に支援しました。(本学が総合優勝)

## 2. 上智短期大学

教育・研究のさらなる発展と充実を目標に掲げて2002年にスタートした大学改革を、引き続き推進し、「夢を応援する大学」としての実質をさらに高めるよう努めました。

2007年度(平成19年度)に財団法人短期大学基準協会による第三者評価において「適格」と認定されたことを受けて、2009年度(平成21年度)も、学生一人ひとりを大切にする教育の原点を見据えて、授業の充実や学習指導体制の強化を通して、アカデミックな面での成長を支援するばかりでなく、次のとおり、課外活動・学生生活・進路などのあらゆる面で学生が人間的に成長することを支援しました。

#### ① 総合的な学生支援体制の確立

「サービスマニエールセンター」(2008年(平成20年)11月開設。コーディネーター及びチューターと呼ばれる教職員によるスタッフが、個々の学生のサービスマニエール活動[社会参加、実践を通じた学外での学びと、授業などの学内での学びの融合]を充実させるために、教育的、技術的、精神的支援を行う)を核として、総合的な学生支援体制の確立を目指しました。

#### ② 学生カルテ

「学生カルテ」(学生指導に必要な履修・進路・課外活動等の多面的な情報)を教職員が共有し、個別指導に活かすため、2009年(平成21年)11月から運用を開始しました。

#### ③ 学長賞

学生の学術、芸術、社会活動、文化活動等の優れた業績に対する顕彰制度として、「学長賞」を新設しました。

#### ④ 上智短期大学創立40周年記念特待生奨学金

「上智短期大学創立40周年記念特待生奨学金」を新設し、一般入試(A日程)の成績優秀者3名に奨学金を授与しました。

### 3. 上智社会福祉専門学校

2009年度(平成21年度)の重要課題は、関連法令の改正に沿った改善・改革及び厚生労働省からの2007年度(平成19年度)本校実地調査による指摘事項の改善です。併せて、日本社会の福祉政策・行政・現場を見極め、安定性・将来性の確保を目指しつつ、今後益々、労働環境等が厳しくなる福祉の世界において使命感をもって活躍する人々を育成・支援し続けることができるよう、主に次の課題に取り組みました。

#### ① 「社会福祉士及び介護福祉士法」(平成24年4月1日施行令)に基づく社会福祉士・児童指導員科及び介護福祉士科の改革

学則を改正し、現在、新カリキュラムに基づく授業を実施しています。

#### ② 成績優秀者奨学金

「成績優秀者奨学金」を新設し、各学科から計5名を選出し、奨学金を授与しました。

#### ③ 介護技術講習会

2008年度(平成20年度)に引き続き、「介護技術講習会」を実施し、また、「介護福祉士国家試験受験対策講座」を設け、「教科13科目」に関しても国家試験受験者のサポートを行いました。

#### ④ 大学・大学院との連携

上智社会福祉専門学校から、「上智大学総合人間科学部社会福祉学科への推薦編入学制度」

及び「上智大学大学院博士前期課程総合人間科学研究科社会福祉学専攻への特別入学制度」の導入を検討し、上智大学・大学院との連携に向けて準備を進め、2010年度(平成22年度)から実施する予定です。

### Ⅲ その他

#### 1. 「TABLE FOR TWO」試験的導入

2009年(平成21年)11月16日～27日、本学学生食堂に、「TABLE FOR TWO」(社内食堂や学生食堂で、対象となるヘルシーな定食や食品を購入すると、1食につき20円の寄付金となり、開発途上国の子どもの学校給食になる仕組)のメニューを試験的に導入しました。(寄付総額8,325円)これは、学生課外活動団体の「Table For Two Sophia」の提案により、上智大学が実施したものです。現在、本格的導入に向けて準備を進めています。

#### 2. インフルエンザ対応

2009年(平成21年)5月、新型インフルエンザの流行に伴い、「新型インフルエンザ対策本部」を設置しました。通常どおり授業等の教育研究活動、課外活動、事務業務を行いました。感染の拡大防止のため、学生・教職員に対して、早期の医療機関受診、インフルエンザと診断(または疑いがある)された場合の専用メールへの報告を徹底させるとともに、授業欠席者への措置(欠席扱いとしない)等を講じました。

### Ⅳ 本学院が対処すべき課題

「21世紀の大学像と今後の改革方策について－競争的環境の中で個性が輝く大学－」(1998年(平成10年)・大学審議会答申)が出されてから、大学は、教育研究の質の向上・改善、組織運営体制の整備、個性化が求められており、学生や父母、地域社会、さらには国際社会から選ばれる大学に向けて、その基盤を強化し続けなければなりません。

日本社会は少子高齢化が進み、今から40年後の2050年(平成61年)には、18歳人口が、現在よりも半減するといった予測データもあります。こうした環境の中で、諸大学は、附属や系列の小・中・高校を展開(タテにつなぐ)したり、国内外の大学と連携(ヨコにつなぐ)したり、学部学科を増強し、大学院を新設(ウイングを広げる)する等の対応策を取っています。

また、「学士課程教育の構築に向けて」(2008年(平成20年)・中央教育審議会)においては、大学における、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを明確にし、その基盤となる教職員の職能開発(FD、SD)が求められており、グローバル化する社会において、学士レベルの資質能力を備える人材の養成と学位水準の国際的通用性の確保が急務となっており、さらに国際的に通用するだけでなく、国際競争に伍する水準にすることが課題です。

こうした状況の中で、本学は、聖母学園との合併、泰星学園との教育提携、カトリックAO入試の展開、卒業生との連携強化等、さまざまな施策を検討・実施してまいります。また、「留学生30万人計

画」に基づき、「入口(入学)」から「出口(就職)」までの一貫した留学生支援が求められている中で、本学は、2009年(平成21年)「国際化拠点整備事業(グローバル30)」に採択されました。旧国際部(現在の国際教養学部)から60年に渡り培った国際教育のノウハウと実績を活かしつつ、就学環境のみならず、住環境や奨学金制度の整備等、さらにきめ細かい国際化への対応を実施していく所存です。

本学は、建学の精神を軸として、「世界に並び立つ大学」へ進化することを目指しています。

## D. 財務の概要

### 決算の概要

#### (1) 収支計算書の状況

2009年度(平成21年度)資金収支は、別表12のとおり、2009年度(平成21年度)収入総額618億円、支出総額523億円で、収入、支出ともに前年度を上回りました。主な要因は有価証券の売買にともなう収支がともに増加したことにより、資産売却収入が306億円の増で、資産運用支出が232億円の増となりました。その他の増減要因は、経済環境の厳しさを反映して寄付金収入が1億円の減となり、資産運用収入が2億円の減となったことです。雑収入は退職金支出の減少により1億円の減となりました。なお、事業収入は研究費収入の増加により1億円の増となり、支出は人件費が退職金の減少により2億円の減、教育研究経費は奨学金制度の新設や、システム開発等の業務委託費の増加に伴い2億円の増となりました。管理経費は雑費(為替差損)が2億円の減となりました。

2009年度(平成21年度)消費収支は、別表13のとおり収入総額が210億円、支出総額が218億円で、当年度消費収支超過額は8億円の支出超過となり、累積消費収支超過額は102億円の支出超過となりました。

#### (2) 資産運用の状況

新たな基本ポートフォリオの構築を目指すべく、有価証券の売買を進めた結果、有価証券売却収入は314億円の増で、有価証券購入支出は209億円の増となりました。

また、有価証券売却差額は11億円の増でした。有価証券処分差額の内、実現損である有価証券処分差額は11億円の増で、有価証券評価差額は、期末保有有価証券で評価替えの対象となるものがなかったことから80億円の減となりました。その結果、有価証券の期末保有額は272億円となり、評価損(含み損)は前年度の38億円から23億円へと15億円減少しました。売買差額により増加した資金は、新設学科の設置申請上必要な現金預金として、留保しました。

今後も引続きリスクに十分考慮した分散投資を徹底し、安定的な収入を上げることを目指し資産運用に取り組みますが、そのためにも基本ポートフォリオの早期構築を目指し、留保した現金預金の運用を含め運用資産のリバランスを継続して順次実施していきます。なお、資産運用関連規程に基づき、意思決定の適正化、理事会を始めとする関係会議体で報告・審議を経るプロセスを確立し、資産運用に係わる統制環境を機能させています。

#### (3) 貸借対照表の状況

別表14のとおり、資産の部合計は前期末より3億円減の1,015億円となりました。その他の固定資産では、減価償却引当資産が90億円減、現金預金が95億円の増となりました。負債の部合計は、長期借入金の減少により、前期末より9億円減の155億円となっています。

基本金は、新規の固定資産取得による1号基本金組入れや、創立100周年募金による寄付金収入を原資とする4つの奨学基金新設による3号基本金組入れにより15億円増の963億円となりました。2010年(平成22年)3月31日現在において、資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は、860億円となりました。



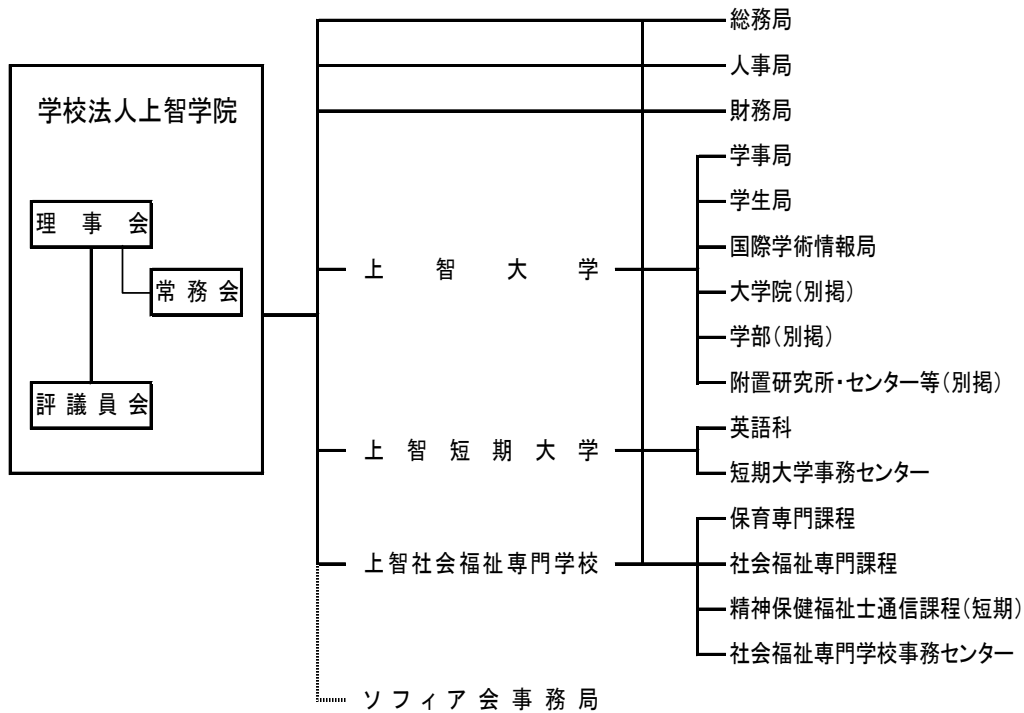
## 別表1

### ■上智学院の年譜

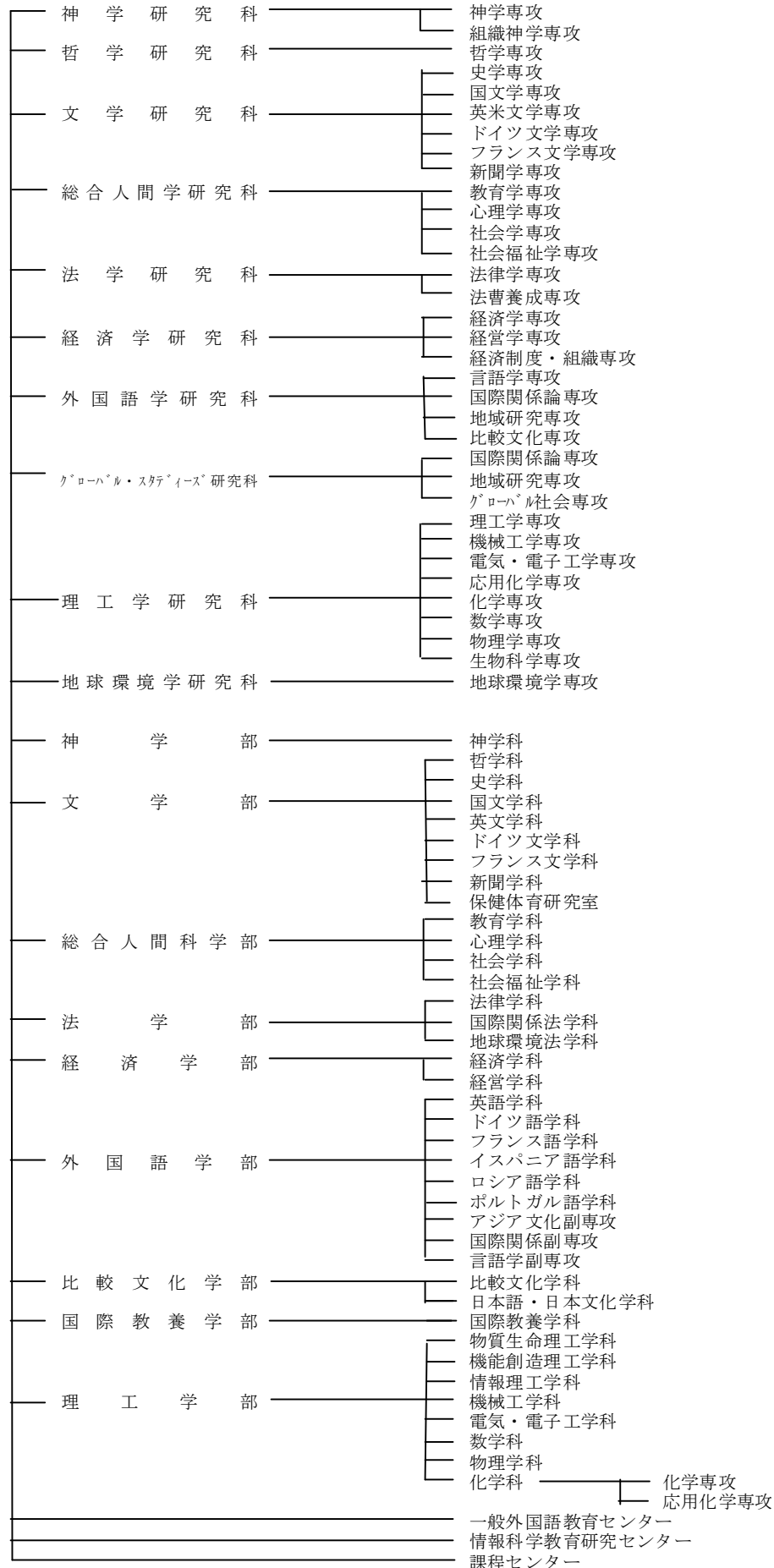
- 1549年(天文18年) 聖フランシスコ・ザビエル来朝
- 1906年(明治39年) 教皇ピオ10世のカトリック大学設立の要請とイエズス会の受諾
- 1908年(明治41年) 3人のイエズス会士来日
- 1911年(明治44年) 財団法人上智学院設立
- 1912年(明治45年) 東京市麹町区紀尾井町の土地を購入
- 1913年(大正 2年) 専門学校令により上智大学開設(哲学科, 独逸文学科, 商科)
- 1928年(昭和 3年) 大学令による上智大学開設
- 1932年(昭和 7年) 専門部開設  
1号館竣工
- 1937年(昭和12年) ソフィア会(同窓会)設立
- 1946年(昭和21年) 公開講座開講
- 1948年(昭和23年) 新制大学開設(文学部、経済学部)
- 1949年(昭和24年) 国際部設置
- 1950年(昭和25年) 真田濠グラウンド開場
- 1951年(昭和26年) 私立学校法による学校法人上智学院設立  
新制大学院開設(神学研究科, 哲学研究科, 西洋文化研究科, 経済学研究科)
- 1957年(昭和32年) 法学部開設  
女子学生の受入開始
- 1958年(昭和33年) 神学部、外国語学部開設
- 1962年(昭和37年) 理工学部開設
- 1964年(昭和39年) 上智大学社会福祉専修科開設
- 1966年(昭和41年) 法学研究科、理工学研究科開設  
西洋文化研究科を文学研究科に改組  
上智大学社会福祉専修科を上智社会福祉専修学校に改組
- 1970年(昭和45年) 外国語学研究科開設
- 1973年(昭和48年) 上智短期大学開設
- 1976年(昭和51年) 上智社会福祉専修学校を上智社会福祉専門学校に改組  
ソフィア・コミュニティ・カレッジ(社会人講座)開講
- 1980年(昭和55年) ホフマン・ホール竣工
- 1984年(昭和59年) 中央図書館・総合研究棟の開館
- 1987年(昭和62年) 比較文化学部開設
- 2004年(平成16年) 法学研究科に法曹養成専攻(法科大学院)を増設
- 2005年(平成17年) 総合人間科学部、総合人間科学研究科、地球環境学研究科開設
- 2006年(平成18年) 比較文化学部を国際教養学部へ改組  
グローバル・スタディーズ研究科開設
- 2007年(平成19年) 経済学研究科を改組
- 2008年(平成20年) 理工学部・理工学研究科を改組

別表2

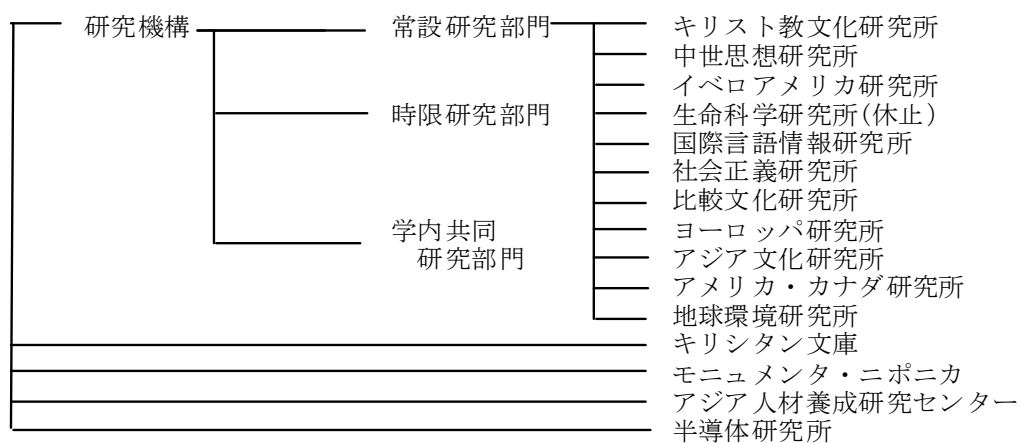
■上智学院組織図



# 大学院・学部



## 附置研究所・センター等



## 別表3

### ■キャンパス

#### 石神井キャンパス

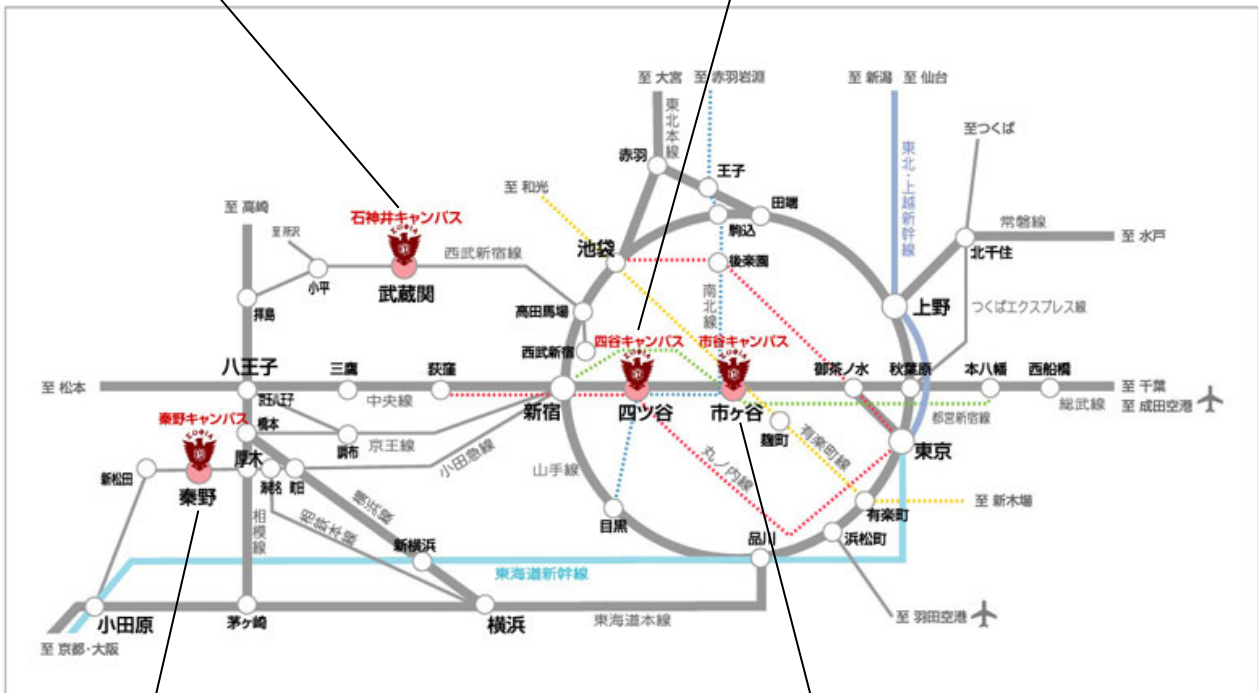
〒177-0044 東京都練馬区上石神井 4-32-11

- 神学部、神学研究科

#### 四谷キャンパス

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

- 神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、比較文化学部、国際教養学部、理工学部
- 哲学研究科、文学研究科、総合人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、外国語学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、理工学研究科、地球環境学研究科
- 上智社会福祉専門学校



#### 秦野キャンパス

〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台 999

- 上智短期大学
- 上智大学(グラウンド)

#### 市谷キャンパス

〒102-0081 東京都千代田区四番町 4

別表4

■施設等の状況

◇主な施設等の状況

所在地	施設等	面積等		帳簿価額	摘要
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町	校地 校舎(教室、実験室、研究室、講堂等) 図書館(図書館、研究室等) 体育館 課外活動施設 エネルギー・ステーション 校舎敷地	14棟 1棟 1棟 1棟 3棟	43,105.11 m <sup>2</sup> 115,145.24 m <sup>2</sup> 26,871.03 m <sup>2</sup> 4,453.53 m <sup>2</sup> 4,114.74 m <sup>2</sup> 3,304.38 m <sup>2</sup> 4,260.00 m <sup>2</sup>	3,571,036 千円 19,922,750 千円 3,191,003 千円 144,666 千円 385,851 千円 1,345,089 千円 借地	大学と社会福祉 専門学校が利用
四谷キャンパス 東京都千代田区紀尾井町 東京都千代田区麹町 東京都港区赤坂 東京都新宿区四谷	運動場		23,972.87 m <sup>2</sup>	借地	大学が利用
市谷キャンパス 東京都千代田区四番町	校地 校舎(教室、研究室) 研究棟(図書室、研究室)	1棟 1棟	4,585.61 m <sup>2</sup> 4,482.25 m <sup>2</sup> 1,962.94 m <sup>2</sup>	368,352 千円 99,349 千円 216,928 千円	大学が利用
石神井キャンパス 東京都練馬区上石神井 東京都練馬区関町	校舎敷地 運動場 校舎 図書館	1棟 1棟	35,465.00 m <sup>2</sup> 5,221.00 m <sup>2</sup> 4,329.62 m <sup>2</sup> 1,352.00 m <sup>2</sup>	借地、借用建物	大学が利用
秦野キャンパス 神奈川県秦野市	校地 校舎(教室、実験室) 研究棟(図書館、研究室) 体育館 食堂棟(食堂、研究室) 管理棟(事務室) セミナーハウス(教室、宿舍) 合宿所	1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟	253,722.91 m <sup>2</sup> 3,292.27 m <sup>2</sup> 2,463.38 m <sup>2</sup> 1,003.51 m <sup>2</sup> 1,606.73 m <sup>2</sup> 1,260.96 m <sup>2</sup> 1,583.92 m <sup>2</sup> 925.70 m <sup>2</sup>	2,184,587 千円 297,075 千円 564,500 千円 85,495 千円 65,855 千円 162,055 千円 37,182 千円 123,164 千円	大学と短期大学が利用 短期大学が利用 大学が利用
枝川寮用地 東京都江東区枝川	用地 男子学生寮	1棟	1,003.39 m <sup>2</sup> 2,530.22 m <sup>2</sup>	415,822 千円 545,661 千円	大学が利用
軽井沢セミナーハウス用地 長野県北佐久郡軽井沢町	用地 セミナーハウス(教室、宿舍)	1棟	6,772.00 m <sup>2</sup> 1,981.83 m <sup>2</sup>	701,339 千円 434,211 千円	大学が利用

# 別表5

## ■学生数

◇上智大学・学部（2009年5月1日現在）

学部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次		学生数
神学部	40	123	42	30	37	47	(14)	156
文学部	420	1,680	468	483	510	659	(175)	2,120
総合人間科学部	200	800	231	233	242	301	(33)	1,007
法学部	285	1,140	309	338	345	364	(86)	1,356
経済学部	280	1,120	336	329	346	388	(72)	1,399
外国語学部	430	1,720	426	460	525	657	(167)	2,068
比較文化学部	0	0	0	0	0	116	(43)	116
国際教養学部	170	680	200	193	192	114	(0)	699
理工学部	350	1,400	386	405	401	445	(62)	1,637
合計	2,175	8,663	2,398	2,471	2,598	3,091	(652)	10,558

注1. 4年次生の欄( )内は在学継続者数で内数である。

注2. 比較文化学部・国際教養学部の学生数は、前年10月入学者数＋当該年度4月入学者数である。

◇上智大学・大学院（2009年5月1日現在）

研究科	大学院博士前期課程 /専門職学位課程			大学院博士後期課程			総計
	入学定員	収容定員	学生数	入学定員	収容定員	学生数	
神学研究科	20	40	26	4	12	7	33
哲学研究科	20	40	17	4	12	19	36
文学研究科	85	170	73	27	81	61	134
総合人間科学研究科	60	120	78	16	48	49	127
法学研究科 法律学専攻	20	40	6	4	12	6	12
法曹養成専攻	100	300	287				287
経済学研究科	30	60	22	4	12	8	30
外国語学研究科	23	46	45	3	9	27	72
グローバル・スタディーズ研究科	60	120	127	14	42	31	158
理工学研究科	210	420	363	20	68	31	394
地球環境学研究科	60	120	77	10	30	11	88
合計	688	1,476	1,129	106	326	250	1,378

(注) 法科大学院の収容定員は文部科学省告示により入学定員の3倍(100×3=300)とするが、定員充足率の算出においては2、3年制の各入学定員に各標準修業年限を乗じた数(50×2+50×3=250)を基礎とする。

◇上智短期大学（2009年5月1日現在）

学 科	入学定員	収容定員	学生数
英語科	250	500	573

◇上智社会福祉専門学校（2009年5月1日現在）

課 程	入学定員	収容定員	学生数
保育専門課程	40	120	91
社会福祉専門課程	86	172	85(2)
精神保健福祉士通信課程(短期)	80	80	80
合 計	186	372	256(2)

注（ ）内の在学継続者の内数である。



## 別表6

### ■卒業・修了者数

#### ◇上智大学・学部

学 部	卒業者数	備 考
神学部	31	
文学部	465	
総合人間科学部	244	
法学部	278	早期卒業3名
経済学部	284	早期卒業3名
外国語学部	441	
比較文化学部	101	
国際教養学部	90	早期卒業4名
理工学部	372	
合 計	2,306	

#### ◇上智大学・大学院

研究科	博士前期課程 専門職学位課程(法科大学院) 修了者数	博士後期課程 修了者数	備 考
神学研究科	10	0	
哲学研究科	3	0	
文学研究科	20	2	
総合人間科学研究科	27	1	
法学研究科			
法律学専攻	5	0	
法曹養成専攻(法科大学院)	99	-	
経済学研究科	12	0	
外国語学研究科	18	0	
グローバル・スタディーズ研究科	57	0	博士前期課程 早期修了4名
理工学研究科	146	5	博士前期課程 早期修了1名
地球環境学研究科	36	2	
合 計	433	10	

#### ◇上智大学・大学院 博士号授与者数

研究科	課程博士	論文博士
神学研究科	0	0
哲学研究科	0	0
文学研究科	4	2
総合人間科学研究科	1	0
法学研究科	1	0
経済学研究科	0	0
外国語学研究科	5	2
グローバル・スタディーズ研究科	1	0
理工学研究科	6	3
地球環境学研究科	2	0
合 計	20	7

◇上智短期大学

学 科	卒業者数
英語科	266

◇上智社会福祉専門学校

課 程	卒業者数
保育専門課程	30
社会福祉専門課程	29
精神保健福祉士通信課程(短期)	80
合 計	139

# 別表7

## ■入試(2010年度入試)

◇上智大学・学部

入試区分 学 部	入学 定員	一般入試				推薦入試(指定校)				推薦入試(公募制)			
		募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数
神学部	40	28	116	25	16	-	-	-	-	10	17	11	11
文学部	420	294	3,782	868	236	62	33	33	33	64	112	77	77
総合人間科学部	200	142	2,465	413	122	18	8	8	8	40	92	40	40
法学部	285	200	4,104	877	212	44	8	8	8	41	36	23	21
経済学部	280	196	6,281	897	241	47	13	13	13	37	39	28	28
外国語学部	430	243	3,115	702	260	55	36	36	36	132	239	130	128
国際教養学部	170	-	-	-	-	1	1	1	1	39	47	42	36
理工学部	350	180	4,668	1,292	249	129	88	88	88	41	42	18	18
合 計	2,175	1,283	24,531	5,074	1,336	356	187	187	187	404	624	369	359

注) 一般入試合格者には、補欠入学許可者を含む

入試区分 学 部	カトリック高等学校対象 特別入試(AO方式)			海外就学経験者入試			神学部推薦入試			外国人入試		
	志願 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	合格 者数	入学 者数
神学部	10	10	10	2	2	1	3	3	3	0	-	-
文学部	53	34	34	72	29	22	-	-	-	44	10	8
総合人間科学部	25	10	10	115	31	23	-	-	-	54	13	11
法学部	36	19	19	106	24	14	-	-	-	56	9	8
経済学部	25	13	13	97	15	11	-	-	-	84	15	12
外国語学部	64	26	26	234	44	21	-	-	-	13	3	2
国際教養学部	11	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理工学部	15	8	8	59	16	4	-	-	-	35	17	12
合 計	239	127	127	685	161	96	3	3	3	286	67	53

入試区分 学 部	合 計		
	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	148	51	41
文学部	4,096	1,051	410
総合人間科学部	2,759	515	214
法学部	4,346	960	282
経済学部	6,539	981	318
外国語学部	3,701	941	473
国際教養学部	226	138	81
理工学部	4,907	1,439	379
合 計	26,722	6,076	2,198

\* 国際教養学部 1年次入試

	志願者数	合格者数	入学者数
2009年度秋学期入学・第1期	186	129	49
2009年度秋学期入学・第2期	134	71	55
2010年度春学期入学	167	88	37
合 計	474	267	178

◇上智大学・学部 編入学試験

学部	編入学試験			上智短期大学生 特別編入学試験			神学部推薦入学編入		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
神学部	9	5	5	0	-	-	1	1	1
文学部	41	8	7	5	5	5	-	-	-
総合人間科学部	14	3	2	4	4	4	-	-	-
法学部	15	1	1	3	3	3	-	-	-
経済学部	13	5	5	2	2	2	-	-	-
外国語学部	41	18	16	1	1	1	-	-	-
国際教養学部	-	-	-	1	1	1	-	-	-
理工学部	4	2	1	-	-	-	-	-	-
合計	137	42	37	15	15	15	1	1	1

\* 国際教養学部 3年次編入学試験

	志願者数	合格者数	入学者数
2009年度秋学期入学	46	16	13
2010年度春学期入学	10	2	2

◇上智大学・大学院

研究科	博士前期課程				博士後期課程			
	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
神学研究科	20	9	6	5	4	4	4	4
哲学研究科	20	10	5	5	4	0	0	0
文学研究科	85	79	45	38	27	9	4	4
総合人間科学研究科	60	79	44	38	16	13	9	8
法学研究科(法律学専攻)	20	26	9	7	4	8	6	4
経済学研究科	30	53	18	10	4	4	4	3
外国語学研究科	23	50	27	25	3	12	8	8
グローバル・スタディーズ研究科	60*	140	85	68	17	11	9	8
理工学研究科	210	267	226	220	20	8	8	8
地球環境学研究科	60	64	52	42	10	2	2	2
合計	588	731	485	434	109	71	54	49

\* 2009年度秋学期を含む

\* 法学研究科法曹養成専攻(法科大学院)

	入学定員	志願者数	第一次試験 受験者数	第一次試験 合格者数	第二次試験 受験者数	最終 合格者数	入学者数
2年制コース	50	487	406	236	193	113	50
3年制コース	50	482	445	325	270	101	45
合計	100	969	851	561	463	214	95

\* 最終合格者数には、補欠繰上合格による入学手続者を含みます。

## ◇上智短期大学

	募集人員	志願者	受験者	合格者	補欠	入学者	
第1期AO入試	20	29	28	27	-	26	
指定校制推薦入試	65	72	72	72	-	72	
公募制推薦入試	20	12	12	12	-	12	
英語検定A特別入試	5	2	2	2	-	2	
卒業生子女特別入試	5	1	1	1	-	1	
英語検定B特別入試	5	4	4	4	-	4	
帰国生特別入試	5	2	2	1	-	0	
社会人特別入試	5	3	3	3	-	3	
一般入試(A日程)	80	112	106	87	18	63	
一般入試(B日程)	20	66	59	58	-	45	
一般入試(C日程)	15	51	43	37	-	28	
第2期AO入試	(a日程)	5	11	11	9	-	9
	(b日程)		6	6	6	-	6
	(c日程)		2	2	2	-	2
	(d日程)		1	1	0	-	0
	(e日程)		1	0	0	-	0
	(f日程)		3	3	3	-	3
	(g日程)		1	1	1	-	1
	(h日程)		0	0	0	-	0
	(i日程)		3	3	3	-	2
	(j日程)		5	4	4	-	2
合計	250	388	363	332	18	281	

## ◇上智社会福祉専門学校

	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
保育専門課程	40	34	32	30
社会福祉専門課程	66	52	49	45
精神保健福祉士通信課程(短期)	80	86	81	71
合計	186	172	162	146

## 別表8

## 国際交流

### ◇上智大学

#### ◇交換留学協定校・学術交流協定校数

国・地域	協定校数	国・地域	協定校数	国・地域	協定校数
英国	7(1)	スイス	2	ベトナム	1(1)
フランス	11(1)	ベルギー	2	ヨルダン	1(1)
ドイツ	12	オーストリア	1	レバノン	1(1)
スペイン	3	イタリア	3	オーストラリア	6
ポルトガル	1	ロシア	2	ニュージーランド	1
アイルランド	1	中国	4	カナダ	5
フィンランド	2	韓国	5	アメリカ合衆国	57
スウェーデン	1	フィリピン	1	メキシコ	4(2)
ノルウェー	1	台湾	2	コロンビア	1(1)
オランダ	2	カンボジア	1(1)	アルゼンチン	2
デンマーク	1	タイ	2	チリ	1
ルクセンブルク	1	シンガポール	1	ブラジル	3
				合 計	152(9)

( )内は内数で学術交流協定校(学生交換は行っていない)

#### ◇上智大学からの派遣交換留学者数

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
英国	11	デンマーク	1	カナダ	8
フランス	19	ノルウェー	4	アメリカ合衆国	97
ドイツ	23	ベルギー	5	ブラジル	2
スペイン	5	オランダ	2	メキシコ	1
ポルトガル	4	スイス	2	チリ	1
アイルランド	2	イタリア	1	韓国	1
スウェーデン	2	ロシア	2	台湾	1
ルクセンブルク	1	オーストラリア	9		
				合 計	204

#### ◇上智大学での受入交換留学生数

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
英国	9	ベルギー	2	アメリカ合衆国	154
フランス	17	オランダ	8	アルゼンチン	1
ドイツ	25	オーストリア	2	チリ	1
スペイン	4	スイス	4	メキシコ	2
ノルウェー	3	イタリア	2	フィリピン	2
スウェーデン	2	ロシア	4	中国	4
フィンランド	2	オーストラリア	19	韓国	7
ルクセンブルク	2	カナダ	14	台湾	2
				合 計	292

#### ◇海外短期語学講座・海外短期研修 参加者数

海外短期語学講座	夏期(8月～9月)	77
	春期(2月～3月)	88
海外短期研修	夏期(8月～9月)	51
	春期(2月～3月)	12

### ◇上智短期大学

#### 海外短期語学講座 参加者数

海外短期語学講座	夏期(8月～9月)	41
	春期(2月～3月)	12

## 別表9

## 進路

◇上智大学 2009年度 学部卒業生・大学院修了者の進路 (人)

設置・学部	進路区分	就職	進学	就職せず	未届者	合計
学部		1,489	504	213	100	2,306
	神学部	18	9	4	0	31
	文学部	342	57	61	5	465
	法学部	166	63	29	20	278
	経済学部	230	16	17	21	284
	外国語学部	329	51	36	25	441
	比較文化学部	57	10	17	17	101
	理工学部	107	246	16	3	372
	総合人間科学部	178	38	20	8	244
	国際教養学部	62	14	13	1	90
大学院(法科大学院を除く)		231	38	54	22	345
合計		1,720	542	267	122	2,651

※「就職せず」は、資格試験勉強、就職活動中(公務員試験勉強中)、アルバイト等を含む。

◇上智短期大学 2009年度 卒業生の進路 (人)

区分	就職	進学	就職せず	未届者	合計
英語科	112	101	48	5	266

※「就職せず」は、編入学試験勉強、資格試験勉強、就職活動中(公務員試験勉強中)、アルバイト等を含む。

◇上智社会福祉専門学校 2009年度 卒業生の進路 (人)

区分	就職	進学	就職せず	未届者	合計
保育士科	26	1	3	0	30
社会福祉士・児童指導員科	19	1	3	0	23
介護福祉士科	4	1	1	0	6
精神保健福祉士通信課程	78	0	2	0	80
合計	127	3	9	0	139

※「就職せず」は、編入学試験勉強、資格試験勉強、就職活動中(公務員試験勉強中)、アルバイト等を含む。

## 別表 10 研究・知的財産等

### (1) 大型研究教育助成プログラムの採択状況

#### (a) 国際化拠点整備事業(グローバル 30)

「上智大学国際化拠点整備事業」 [2009 年度～2013 年度]

#### (b) 科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」 [理工学部、2009 年度～2011 年度]

#### (c) 大学院教育改革支援プログラム

1) 「心理学研究者の統合的養成プログラム」 [総合人間科学研究科心理学専攻、2007 年度～2009 年度]

2) 「現地拠点活用による協働型地域研究者養成」 [グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻、2008 年度～2010 年度]

#### (d) 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

「人とかかわる職種の人のためのカウンセリング基礎プログラム」 [学事局公開学習センター、2007 年度～2009 年度]

#### (e) 現代的教育ニーズ取組支援プログラム

「グローバル社会における環境リテラシー教育 –持続可能なグローバル社会の主体形成をめざして–」 [2007 年度～2009 年度]

#### (f) 大学教育の国際化推進プログラム(戦略的国際連携支援)

「文化遺産教育戦略に資する国際連携の推進」 [アジア人材養成研究センター、2006 年度～2009 年度]

### (2) 科学研究費補助金(文部科学省・日本学術振興会)

(※括弧内は 2008 年度との比較。金額は百万円未満切捨て)

件数 132 件 (9 件増)

金額 281 百万円 (26 百万円増)

直接経費 230 百万円 (22 百万円増)

間接経費 51 百万円 (5 百万円減)

### (3) 委託研究・学外共同研究 (※括弧内は 2008 年度との比較)

#### (a) 委託研究

件数 47 件 (9 件増)

#### (b) 学外共同研究

件数 17 件 (5 件減)

### (4) 知的財産 (※括弧内は 2008 年度との比較)

#### (a) 特許出願・登録状況

特許出願件数 16 件 (国内 8 件、海外 : 8 件)

特許登録件数 3 件 (国内 : 0 件、海外 : 3 件)

#### (b) 発明に係る褒賞授与

2010 年 2 月、研究活動において発明を行い、本学の知的財産の発展に寄与された特許登録者 2 人、特許発明者 5 人に対し、その功績を表彰し、学長から褒賞授与と表彰状を贈呈。



## 別表11

## 2009年度 主な事業と予算執行状況

事業概要	予算執行額(円)
創立100周年記念事業推進のための ・企画立案・選定・実施、各部門企画実施支援、記念式典準備等 ・各部門企画実施経費の申請、支出	3,901,899
『上智大学のルーツをたどる旅』創立100周年記念ツアーの企画 (2010～2013年度)	348,875
文科省研究装置・研究設備、貴重本、文科省研究装置関係付帯工事	228,980,344
学術研究振興資金(アジア文化研究所)	5,400,000
市谷キャンパスの耐震補強工事関係(耐震診断、本工事、周辺工事等)	86,523,375
ソフィアシンポジウム3件の実施	3,066,855
CALLシステム(2005年度導入)の更新と、教室の増設	101,906,238
学生・教職員向け通知、会議資料、学院広報・大学通信・ソフィア掲示板の英語翻訳の実施	2,601,144
女性研究者養成・研究活動プロジェクト計画	1,060,309
研究機構常設研究部門研究単位の統合及びグループ化の図書整理作業	342,804
3号館B棟 耐震補強工事	
3号館B棟 窓サッシュ・階段室ガラスブロック改修工事	
8号館 耐震補強工事・屋上防水工事・外壁補修工事	
ホフマン・ホール 耐震補強工事・屋上防水工事・外壁補修工事	
中央図書館 多目的スペース(ラーニング・コモンズ)設置工事	
研究機構常設研究部門研究単位のグループ化・大学院生研究室のL号館内施設改修	732,543,798
市谷プロジェクト室の設置に伴う、市谷キャンパス棟の改修工事	
中央図書館・総合研究棟の窓の補修作業	
第3期防災設備改修工事(1・3・4・8・9号館、体育館の非常放送・自動火災報知機の改修)	
キャンパス内総合危機管理体制コンサルティング委託(防犯・消防等)	
ソフィア通り側 新規フェンス取付工事	
パイプ机・椅子の新規物品への入れ替え(2007年度より4年計画実施の第3期)	25,200,000
秦野キャンパス耐震補強工事(1・2号館、体育館、セミナーハウス)	275,010,000
秦野クラブハウス受変電設備の更新	18,585,000
秦野キャンパス1号館受変電設備の更新	43,869,000
秦野キャンパス共同溝内の給水管・冷水管等の更新	21,000,000
秦野キャンパス2号館食堂の梁劣化改修工事	1,995,000
秦野セミナーハウス 3教室修繕工事・屋上防水修繕工事	3,366,720
TEAP(アカデミック英語能力判定試験)開発	2,314,235
上南戦第50回記念大会の企画・実施	4,086,551
コンピュータールーム2室(G・H/2005年度更新)の更新	11,285,290
図書館無線LAN導入	7,603,002
防犯カメラシステム改修	2,228,730
法科大学院自習室(2005年度開設)コンピュータシステム等の更新	5,876,852
学内情報処理システム ①ハードウェア導入、リプレイス ②基盤系システムのリプレイス ③各種制度変更対応、機能改善 ④その他	160,836,007
図書館石神井分館所蔵図書の目録データ入力(3/4年目)	
図書館石神井分館所蔵貴重図書資料の補修及び電子画像作成	50,846,228
中央図書館地下1階フロア機能の改善	
テレビセンター プロンプター装置一式	1,995,000

事業概要	予算執行額(円)
キリシタン文庫 ・貴重書データベース(XML)のバージョンアップ諸作業 ・運用独自サーバー(Anastasia)のアップデート作業 ・補助金で充当できない費用の発生	2,794,642
ソフィア・ルネッサンス連続講演会	1,959,531
RFIDに関する教育研究事業体の活動	1,590,672
新「神学部」発足、「キリスト教人間学」開設記念シンポジウム	775,418
国文学科創立50周年記念事業	1,009,998
理工学部再編に伴う学生実験に係る費用	23,434,244
理工学部「現代GP」の科学技術英語教育への支援	1,646,888
「国際仲裁」授業実施経費	3,340,033
グローバルスタディーズ研究科 21世紀COEプログラム継承事業 ①オンラインジャーナルの運営 ②大学院生・若手研究者主導によるワークショップ等の開催 ③グローバル・スタディーズ・コンソーシアム幹事校としての研究活動	2,366,993
短期大学 ・新入生導入教育ハンドブックの新規作成・配布 ・コンピテンシー診断テストの実施 (・イベント用屋外ステージの購入【期中に予算凍結】)	599,760
短期大学 ①1号館1階教室の机・椅子入れ替え ②屋外アメニティスペースの充実	7,282,800
短期大学 学生の英語力向上のためのe-learningの機能強化	5,880,000
上智社会専門学校公式ホームページのリニューアル	2,530,500
計	1,857,984,735

別表12

■収支計算書：経年変化

◇資金収支計算書(概要)

(単位：千円)

収入の部	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
学生生徒納付金収入	12,895,024	13,127,023	13,435,425	13,581,411	13,611,516	30,105
手数料収入	1,046,995	1,065,422	1,051,015	1,065,212	1,058,948	△ 6,264
寄付金収入	496,321	629,365	671,944	459,847	397,332	△ 62,515
補助金収入	2,853,510	2,792,556	2,540,031	3,054,893	3,024,944	△ 29,949
（国庫補助金収入）	( 2,850,858 )	( 2,789,776 )	( 2,535,644 )	( 3,051,867 )	( 3,020,803 )	( △ 31,064 )
（地方公共団体補助金収入）	( 1,432 )	( 2,780 )	( 3,387 )	( 2,026 )	( 2,041 )	( 15 )
（その他の補助金収入）	( 1,220 )	( 0 )	( 1,000 )	( 1,000 )	( 2,100 )	( 1,100 )
資産運用収入	1,735,406	1,802,882	1,773,297	1,759,991	1,578,877	△ 181,114
資産売却収入	32,998,710	15,420,269	10,741,120	3,195,387	33,763,379	30,567,992
事業収入	736,852	872,888	708,215	657,888	720,464	62,576
雑収入	962,107	1,551,379	866,718	810,438	662,423	△ 148,015
借入金等収入	0	800,000	0	500,000	0	△ 500,000
前受金収入	3,953,994	4,273,743	4,043,060	4,012,003	3,998,781	△ 13,222
その他の収入	662,716	14,239,305	5,691,807	3,578,814	8,029,649	4,450,835
資金収入調整勘定	△ 4,766,696	△ 4,884,635	△ 5,084,518	△ 5,249,161	△ 5,077,513	171,648
前年度繰越支払資金	5,631,472	8,267,866	9,463,158	3,789,777	1,933,313	△ 1,856,464
収入の部合計	59,206,411	59,958,063	45,901,272	31,216,500	63,702,113	32,485,613

(単位：千円)

支出の部	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
人件費支出	11,271,826	11,548,607	11,387,548	11,201,806	11,028,892	△ 172,914
（退職金支出）	( 797,671 )	( 989,528 )	( 1,015,627 )	( 891,176 )	( 672,913 )	( △ 218,263 )
教育研究経費支出	5,247,121	4,233,546	4,853,897	5,110,979	5,324,797	213,818
管理経費支出	1,108,564	1,286,414	1,031,839	1,416,333	1,208,754	△ 207,579
借入金等利息支出	199,362	191,636	180,461	161,638	153,894	△ 7,744
借入金等返済支出	1,515,710	1,447,210	1,172,210	772,210	872,210	100,000
施設関係支出	2,471,235	926,406	837,753	1,001,472	793,540	△ 207,932
設備関係支出	1,114,492	944,615	883,866	720,151	953,312	233,161
資産運用支出	27,138,292	34,467,676	17,119,328	8,818,148	31,969,042	23,150,894
その他の支出	1,343,030	486,690	5,080,187	460,932	408,407	△ 52,525
資金支出調整勘定	△ 471,087	△ 5,037,895	△ 435,594	△ 380,482	△ 446,654	△ 66,172
次年度繰越支払資金	8,267,866	9,463,158	3,789,777	1,933,313	11,435,919	9,502,606
支出の部合計	59,206,411	59,958,063	45,901,272	31,216,500	63,702,113	32,485,613

## 別表13

## ■収支計算書:経年変化

## ◇消費収支計算書(概要)

(単位:千円)

消費収入の部	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
学生生徒納付金	12,895,024	13,127,023	13,435,425	13,581,411	13,611,516	30,105
手数料	1,046,995	1,065,422	1,051,015	1,065,212	1,058,948	△ 6,264
寄付金	654,632	928,490	1,033,839	636,264	548,802	△ 87,462
(現物寄付金)	( 158,311 )	( 299,125 )	( 361,895 )	( 176,417 )	( 151,470 )	( △ 24,947 )
補助金	2,853,510	2,792,556	2,540,031	3,054,893	3,024,944	△ 29,949
(国庫補助金収入)	( 2,850,858 )	( 2,789,776 )	( 2,535,644 )	( 3,051,867 )	( 3,020,803 )	( △ 31,064 )
(地方公共団体補助金収入)	( 1,432 )	( 2,780 )	( 3,387 )	( 2,026 )	( 2,041 )	( 15 )
(その他の補助金収入)	( 1,220 )	( 0 )	( 1,000 )	( 1,000 )	( 2,100 )	( 1,100 )
資産運用収入	1,735,406	1,802,882	1,773,320	1,759,991	1,578,877	△ 181,114
資産売却差額	3,750,308	1,533,244	1,143,311	408,280	1,224,234	815,954
事業収入	736,852	872,888	708,215	657,888	720,465	62,577
雑収入	962,107	1,551,379	866,718	810,438	662,423	△ 148,015
帰属収入合計	24,634,834	23,673,884	22,551,874	21,974,377	22,430,209	455,832
基本金組入額合計	△ 3,596,360	△ 3,532,990	△ 1,941,715	△ 1,344,395	△ 1,465,539	△ 121,144
消費収入の部合計	21,038,474	20,140,894	20,610,159	20,629,982	20,964,670	334,688

(単位:千円)

消費支出の部	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
人件費	11,197,755	11,527,054	11,605,562	11,261,855	10,887,344	△ 374,511
(退職給与引当金繰入額)	( 723,600 )	( 967,976 )	( 1,233,641 )	( 951,225 )	( 531,365 )	( △ 419,860 )
教育研究経費	6,684,904	5,676,448	6,260,974	6,564,411	6,766,468	202,057
(教 減価償却額)	( 1,437,782 )	( 1,442,901 )	( 1,407,077 )	( 1,453,433 )	( 1,441,670 )	( △ 11,763 )
管理経費	1,359,512	1,560,366	1,234,588	1,628,178	1,419,370	△ 208,808
(管 減価償却額)	( 243,441 )	( 273,952 )	( 198,533 )	( 205,845 )	( 210,617 )	( 4,772 )
借入金等利息	199,362	191,636	180,461	161,638	153,894	△ 7,744
資産処分差額	2,131,159	424,419	1,322,366	9,459,777	2,558,544	△ 6,901,233
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	21,572,692	19,379,923	20,603,951	29,075,859	21,785,620	△ 7,290,239
当年度消費収支超過額	△ 534,218	760,971	6,208	△ 8,445,877	△ 820,951	7,624,926
前年度繰越消費収支超過額	△ 1,231,216	△ 1,765,434	△ 1,004,463	△ 998,255	△ 9,444,132	△ 8,445,877
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0
翌年度繰越消費収支超過額	△ 1,765,434	△ 1,004,463	△ 998,255	△ 9,444,132	△ 10,265,083	△ 820,951

別表14

■収支計算書:経年変化

◇貸借対照表(概要)

(単位:千円)

	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
<b>資産の部</b>						
固定資産	95,075,249	102,388,146	104,352,951	98,469,653	88,858,430	△ 9,611,223
有形固定資産	52,871,348	52,928,939	53,065,973	52,273,840	52,058,714	△ 215,126
土地	7,861,919	7,856,268	7,856,268	7,277,668	7,277,668	0
建物	29,719,660	28,824,523	29,073,588	28,858,859	28,516,383	△ 342,476
構築物	1,509,627	1,468,418	1,473,130	1,432,345	1,403,755	△ 28,590
教育研究用機器備品	2,811,149	2,862,033	2,853,155	2,749,031	2,912,862	163,831
その他の機器備品	81,894	90,618	87,695	79,142	80,216	1,074
図書	10,865,911	11,184,779	11,712,196	11,871,207	11,866,067	△ 5,140
車輛	21,188	15,185	9,941	5,588	1,763	△ 3,825
建設仮勘定	0	627,115	0	0	0	0
その他の固定資産	42,203,901	49,459,207	51,286,978	46,195,813	36,799,716	△ 9,396,097
流動資産	9,276,571	10,638,035	4,770,726	3,350,814	12,669,459	9,318,645
現金預金	8,267,866	9,463,158	3,789,777	1,933,313	11,435,919	9,502,606
その他の流動資産	1,008,705	1,174,877	980,949	1,417,501	1,233,540	△ 183,961
資産の部合計	104,351,820	113,026,181	109,123,677	101,820,467	101,527,889	△ 292,578
<b>負債の部</b>						
固定負債	11,555,887	11,082,124	10,527,928	10,215,767	9,209,810	△ 1,005,957
長期借入金	8,477,120	8,024,910	7,252,700	6,880,490	6,008,280	△ 872,210
退職給与引当金	3,078,767	3,057,214	3,275,228	3,335,277	3,193,728	△ 141,549
長期末払金(注1)	-	-	-	-	7,802	7,802
流動負債	6,541,250	11,395,413	6,099,182	6,209,615	6,278,405	68,790
短期借入金	1,367,210	1,172,210	772,210	872,210	872,210	0
未払金	250,212	4,837,126	217,530	230,842	280,396	49,554
前受金	3,953,994	4,273,744	4,043,060	4,012,003	3,998,781	△ 13,222
預り金	956,296	1,064,458	1,033,331	1,061,216	1,087,416	26,200
仮受金	13,538	47,875	33,051	33,344	39,602	6,258
負債の部合計	18,097,137	22,477,537	16,627,110	16,425,382	15,488,215	△ 937,167
<b>基本金の部</b>						
第1号基本金	65,511,080	67,723,459	69,915,893	71,139,284	72,869,905	1,730,621
第2号基本金	12,681,617	13,683,519	13,227,122	13,135,670	12,724,555	△ 411,115
第3号基本金	8,587,420	8,906,129	9,111,807	9,324,263	9,470,297	146,034
第4号基本金	1,240,000	1,240,000	1,240,000	1,240,000	1,240,000	0
基本金の部合計	88,020,117	91,553,107	93,494,822	94,839,217	96,304,757	1,465,540
<b>消費収支差額の部</b>						
翌年度繰越消費収支超過額	△ 1,765,434	△ 1,004,463	△ 998,255	△ 9,444,132	△ 10,265,083	△ 820,951
消費収支差額の部合計	△ 1,765,434	△ 1,004,463	△ 998,255	△ 9,444,132	△ 10,265,083	△ 820,951
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	104,351,820	113,026,181	109,123,677	101,820,467	101,527,889	△ 292,578

(注1)平成21年4月1日以降に開始したリース取引(文科省通知によるリース会計処理の変更による)

◇有価証券の時価情報

(単位:千円)

区分	帳簿価額	時価	簿価・時価差額
株式、債券	27,165,070	24,896,392	△ 2,268,678
(うち満期保有目的債券)	11,442,152	10,195,009	△ 1,247,143

## 別表15

## ■主な財務比率

(単位:%)

比率名	算式	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	他法人平均 (※3)
							2008年度 (平成20年度)
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	12.4	18.1	8.6	△ 32.3	2.9	△ 0.4
帰属収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	87.6	81.9	91.4	132.3	97.1	111.2
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	52.3	55.4	59.6	61.8	60.7	62.7
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	45.5	48.7	51.5	51.2	48.5	50.5
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	27.1	24	27.8	29.9	30.2	34.9
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.5	6.6	5.5	7.4	6.3	9.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	141.8	93.4	78.2	54	201.8	193.3
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金※1}}$	21	24.8	18	19.2	18	16.8
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金※2}}$	82.7	80.1	84.8	83.9	84.7	85.6
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	90.1	91	92.1	92.8	93.7	97

※1 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額

※2 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

※3 他法人平均:「財務状況調査結果のまとめ、平成16年度～平成20年度」(社)日本私立大学連盟  
学生収容定員数 10,000～19,999人/本学を含む16法人 の2008年度決算平均値

## ■寄付金の状況

(単位:千円)

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
創立100周年記念事業募金	個人、法人、他	293,723	創立100周年記念事業
特定寄付金	個人、法人、他	38,428	奨学研究寄附他
一般寄付金	個人、法人、他	65,181	教育研究経費への寄付他
現物寄付金	個人、他	151,470	土地、建物、教育研究用機器備品、図書
	合計	548,802	

## ■借入金の状況

(単位:千円)

借入先	借入残高	利率	返済期限	担保等
日本私立学校振興・共済事業団	5,670,490	1.90%～4.60%	平成25年9月20日～平成36年3月15日	土地・建物
市中金融機関	1,210,000	1.380%～2.10%	平成23年6月30日～平成26年4月7日	なし
合計	6,880,490			

別表16

■収益事業の状況

不動産賃貸業を行っておりその状況は次のとおりである。

◇貸借対照表

(単位:千円)

	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
流動資産	143,742	118,801	110,347	107,826	97,680	△ 10,146
固定資産	608,694	587,949	568,260	549,031	530,964	△ 18,067
資産合計	752,436	706,750	678,607	656,857	628,644	△ 28,213
流動負債	43,116	37,193	43,243	45,443	45,168	△ 275
固定負債	271,578	277,179	275,683	275,583	275,583	0
負債合計	314,694	314,372	318,926	321,026	320,751	△ 275
純資産合計	437,742	392,378	359,681	335,831	307,893	△ 27,938
負債・純資産合計	752,436	706,750	678,607	656,857	628,644	△ 28,213

◇損益計算書

(単位:千円)

	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)	2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	08年度:09年度 増減
売上高	235,292	226,464	236,360	236,426	236,150	△ 276
売上原価	82,622	86,493	80,228	76,655	84,172	7,517
販売費・一般管理費	24,244	23,934	24,335	17,553	15,387	△ 2,166
営業外収益	6,773	7,057	6,501	6,466	6,734	268
営業外費用	7	5	0	0	0	0
学校会計繰入金支出前損	135,192	123,089	138,298	148,684	143,325	△ 5,359
学校会計繰入金支出	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0
税引前当期純損益	△ 14,808	△ 26,911	△ 11,702	△ 1,316	△ 6,675	△ 5,359
法人税、住民税及び事業税	19,201	18,453	20,995	22,533	21,264	△ 1,269
当期純損益	△ 34,009	△ 45,364	△ 32,697	△ 23,849	△ 27,939	△ 4,090